



☆ 前期期末考査→9/1(火)～9/4(金)

～計画的に準備・対策をしよう～

9月1日から前期期末考査が始まります。

「得意教科の国語は80点以上、苦手教科の数学は60点以上」等、具体的な目標を持って、計画的に準備・対策を練りましょう。満足できる結果を残すか否かは、事前の準備量に比例します。「覚えていない・理解していない」範囲をできるだけつぶしていくこと。スケジュールシートが進路指導室前のレターケースにあります。自由に持ち帰り、活用してください。試験の準備を万全にして余裕を持って開始を待ちたいものです。卒業年次生は進路先に提出する成績になります。覚悟して取り組むこと。

※ 試験中は必ずIDカードを持参すること。

☆ 第1回推薦委員会：9/3(木)

いよいよ推薦入試が本番を迎えます。推薦入試には、一般公募制推薦(学校推薦)、指定校推薦、特別推薦があります。受験者側には、早く合格を決定できるという点で、学校側には、早く優秀な生徒を一定数確保できるという点でそれぞれメリットがあるため、推薦入試は今後ますます増える傾向にあります。

※【裏面に本校の推薦入試の流れを記載】

☆ 指定校推薦と特別推薦の違い

【指定校推薦】…大学や短大、専門学校等の上級学校が指定した高校だけを対象に実施するものです。言い換えると、「開陽高校から責任を持って一人推薦してください。」という入試制度です。上級学校と高校との信頼関係があってこそその入試でもあるため、校内選考の基準が一般公募制推薦の基準よりも高くなります。

【特別推薦】…「何か特別な活動成績がある人」対象の入試制度です。例えば体育系の部活動で優勝経験がある人などは、「スポーツ特別推薦」などの入試制度を利用できます。また、文化的な活動においても同様の成績を修めた人にそのような入試制度があります。ただし、このような入試制度は、「全ての大学・全ての学科」にあるわけではないので、自分の志望校のことを早めしっかりと調べておく必要があります。

① 推薦基準は各学校によって異なりますが、評定平均値が3.0以上というものがほとんどです。したがって、授業にしっかり出席し、予習・復習にしっかり取り組み、定期考査でも良い成績を修めることが必要です。単に単位を修得するためだけの学習では、届きません。

② 生活に規律があり、時と場をわきまえた行動がとれること。普段より服装・頭髪・身だしなみ・礼儀作法に高校生らしい清潔感があること。一夜漬けでは決して身につけません。

③ 願書には公的な資格や特技・趣味などを記載します。ジュニアの資格、4級以下の資格は記載しません。各種検定試験に挑戦し、資格取得を増やしましょう。また、部活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などにも積極的に参加しましょう。

☆ 学んだことを生かし、絶対内定！

8月21日(金)本校にて、就職希望の本校卒業年次生22名及び他校生4名が参加しました。ヤングハローワークのジョブサポーターを面接官に招き、本番に近い緊張感の中で面接練習を行いました。短い面接時間の中で、笑顔ではきはきと応えることの難しさを皆感じていたようです。今後の取り組みでさらに改善し、希望者が全員内定を取れることを祈っています。

Information

**1【卒業年次生対象】第1回ベネッセ・駿台
マーク模試受験申込受付中**

※希望者は8/27(木)までに1F進路室へ